

2年 道徳科の授業

「心に寄りそう」という読み物教材を使って、他の人の気持ちに寄り添いながら、温かく接するとはどういうことなのかを、みんなで考え、深め合いました。

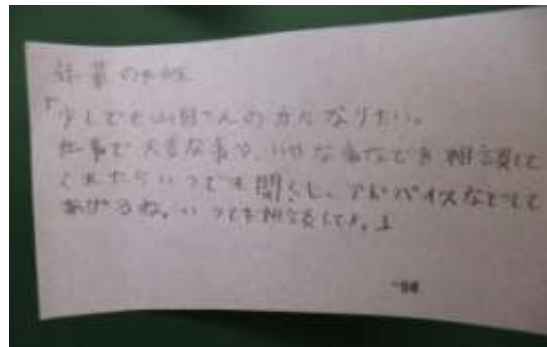
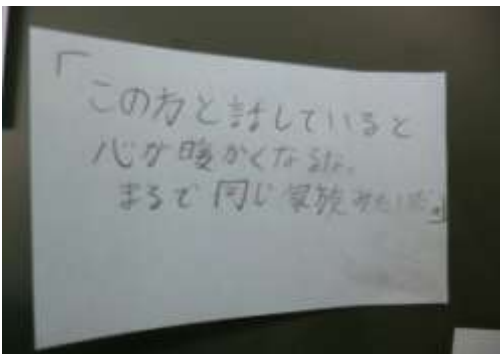
大阪のある病院に勤める看護師3年目の山田さん。最初の頃は、入院患者にどのように話しかければいいのか悩んでいました。仕事もうまく進められず、一人隠れて涙を流すこともありました。そんな時、その病院でも長い入院生活を送る年輩の女性に、「どうしたの?」と声をかけられ、「頑張るのよ。」と励まされました。

それをきっかけに、患者さんに対して、目線を合わせて挨拶することや、相手の気持ちや立場に寄りそって会話することの大切さを知り、今では充実した看護師生活を送っているというお話です。



挿絵のある場面から、次のような発問がされました。

「山田さんと年輩の女性は、どのような会話をしていると思いますか?」



たくさんの豊かな発表により、生徒たちの考えも深められたようです。

行間の読みとりを意図した授業ですが、他者の心に寄りそうためには、相手の気持ちを想像する力が必要であり、今回の授業は人の気持ちを考える良いトレーニングになったようです。

